



## 東京・筑波先端科学研修

平成29年10月1～3日、東京・筑波先端科学研修に行きました。初日はお台場の日本未来科学館とリスーピア、そしてMEGAWEBなどを見学しました。日本未来科学館ではASIMOの実演があり、実際に人間のように動く近未来ロボットに驚きました。MEGAWEBでは、自動車の歴史や未来カーに触れ、日本の自動車産業の凄さに圧倒されました。

2日目はつくば市に移動し、物質材料研究所やJAXA、高エネルギー加速器研究機構を訪問しました。どの研究室も厳重なセキュリティーで管理され



ており緊張しましたが、日本の最先端の科学技術を支える重要な研究が行われていることに感動しました。左の写真は加速器(Belle II)の心臓部で、光速近くまで加速された粒子を衝突させる重要な部分です。また、数多くの外

国籍の研究者が研究に携わっていることにも驚きました。改めて語学スキルの大切さを身に染みて感じました。

つくば市での研修後には都内へ移動し、今春に数コミを卒業され、東京大学へ進学された荻本成基先輩と夕食を共にし、高校時代の思い出や受験勉強のこと、大学生活のことを聞きました。

最終日は、東京国立科学博物館と東京大学工学部一木研究室を訪問しました。博物館はその標本数の多さと質に圧倒されました。研修時間は3時間でしたが、一日でも見終わらないほどの規模でした。一木研究室では、医療検査デバイスの研究内容を講義してくださいました。昼食は東京大学安田講堂下の学食で摂りました。

今回の研修で学び感じたことを、今後の学習や進路目標に生かしていきたいと強く思いました。



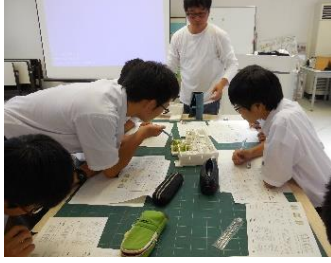
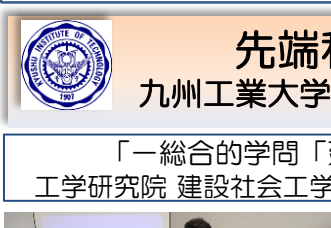
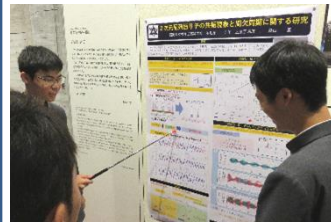
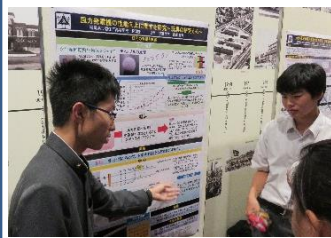
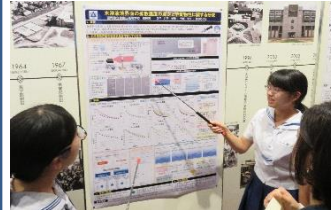
## 九州大学アカデミックフェスティバル 研究発表会に参加



平成29年10月21日(土)、九州大学伊都キャンパスで「九州大学アカデミックフェスティバル」が開催され、研究成果を発表しました。

午前中は、森田浩介先生による113番元素Nh(ニホニウム)の発見についての講話や、九州大学で山川賞を受賞した学生や在学中に事業を起業した卒業生による活動紹介が行われ、熱気に満ちた先生と学生の姿に、会場は大変盛り上がりしました。

午後からは九州大学「世界に羽ばたく未来創成科学者育成プロジェクト(FC-SP)」に参加している高校生や、SSH・SGH指定校の生徒による口頭発表・ポスター発表が行われました。本校から3チームが参加し、多くの来場者に熱心に質問していただき、発表した生徒は、良い経験ができました。



建築学に関する学問やその歴史の説明を聞いた後、自分が将来住みたい家の設計を行いました。個性豊かな家が出来上がり、発表を通してお互いのアイデアの共有を図りました。

## 「九工大の学生たちによる深宇宙の探査」 工学研究院 先端機能システム工学研究系 奥山 圭一 教授



深宇宙探査機「しんえん2」と地球低軌道環境観測衛星「てんこう」に関する講義を聞いた後、実際の宇宙工学実験で使用する実験施設の見学およびTAによる説明を聞きました。

## 先端科学研修 九州工業大学・戸畑キャンパス

### 「一総合的学問「建築」への招待」 工学研究院 建設社会工学研究系 徳田 光弘 准教授